

令和6年度 栗東市水道事業
決算概要及び業務状況

1 令和6年度 水道事業会計の決算概要

① 収益的収支(営業活動等に伴う収支)

水道水をつくり、ご家庭等まで届けるための経費とその財源

当年度純利益 98,681,903円【前年度比 +1億1,741万円】

(前年度との増減理由)

令和6年4月検針分より水道料金の値上改定を行ったことにより、給水収益が増加し、純利益を計上しました。

② 資本的収支(設備投資等に伴う収支)

水源地や配水池、水道管等の水道施設を新設・更新するための経費とその財源

収支不足額 ▲456,558,471円【前年度比 +1億3,136万円】

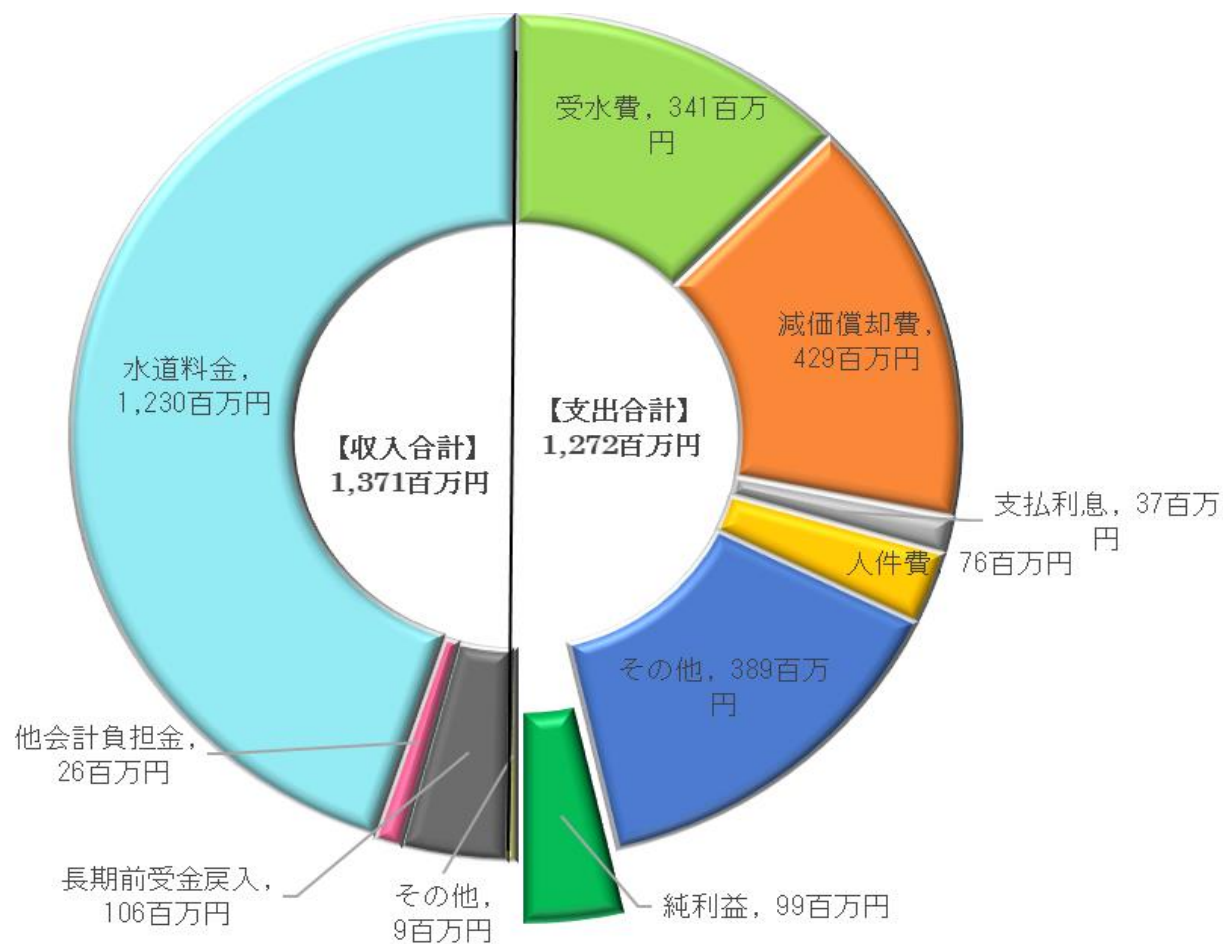
(前年度との増減理由)

企業債借入の増及び建設改良費の減等により不足額が減となりました。

令和6年度決算では、**水道料金の値上改定により損益収支が改善し、当年度純利益を計上**しました。

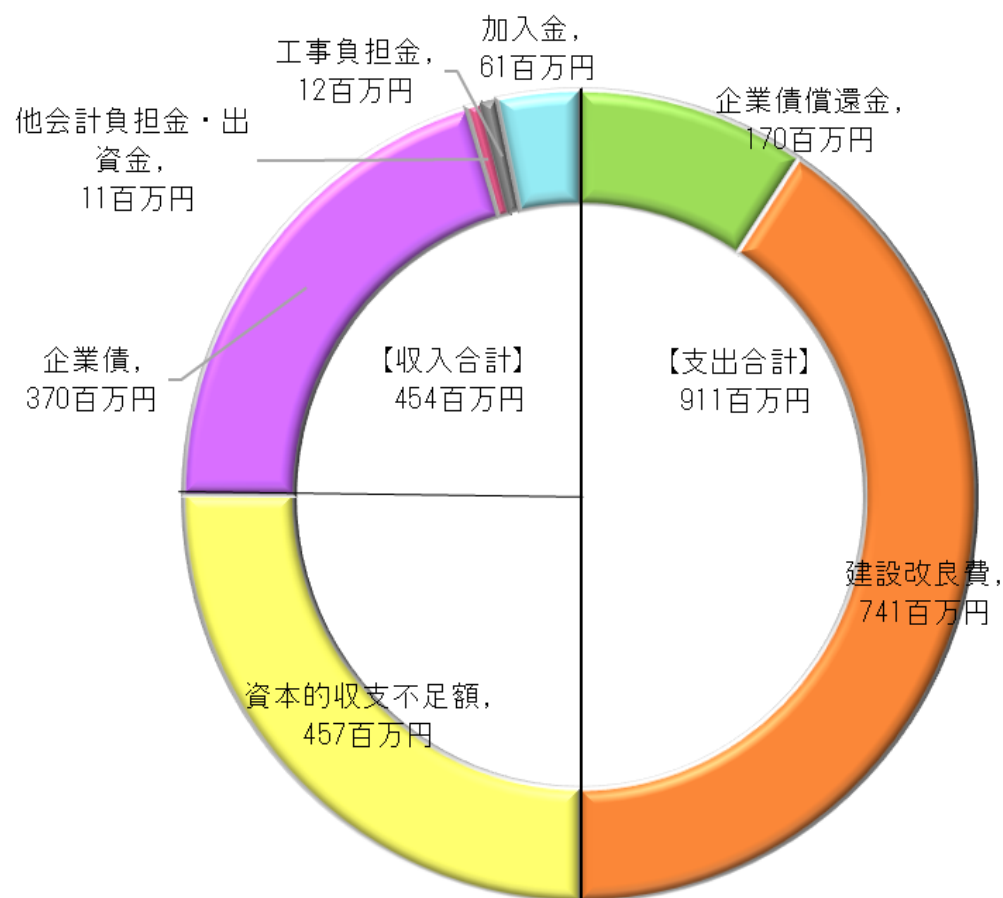
今後も水道施設の耐震化に積極的に取り組むとともに、老朽水道施設更新等の事業を計画的に実施します。

① 収益的収支の内訳



純利益9, 868万1, 903円

② 資本的収支の内訳



※積立金や留保資金等により補填

【内訳】積立金 3,000万円

損益勘定留保資金 3億5,800万円

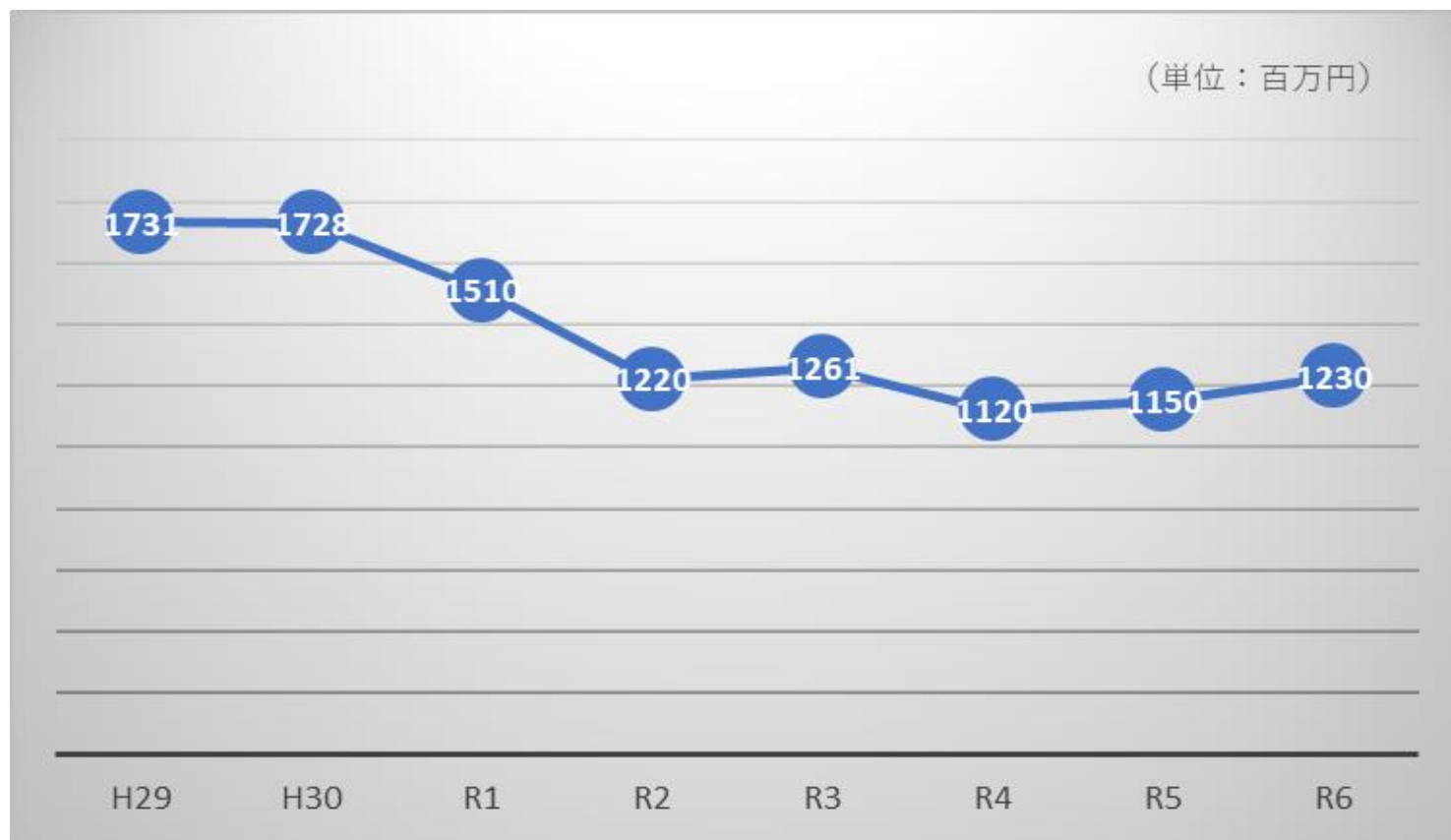
消費税資本的収支調整額 6,900万円

③ 貸借対照表(令和6年度末)

資本の部 125億5500万円	固定資産 110億7100万円	固定負債 38億8900万円	負債の部 69億6300万円
		流動負債 7億4600万円	
		繰延収益 23億2800万円	
		資本金 48億5200万円	
	流動資産 14億8400万円	資本剰余金 3億1100万円	資本の部 55億9200万円
		利益剰余金 4億2900万円	

④ 資金期末残高

水道料金の値上改定による給水収益の増加により、
前年度より約8,000万円の資金増となりました。



2 令和6年度 水道事業報告

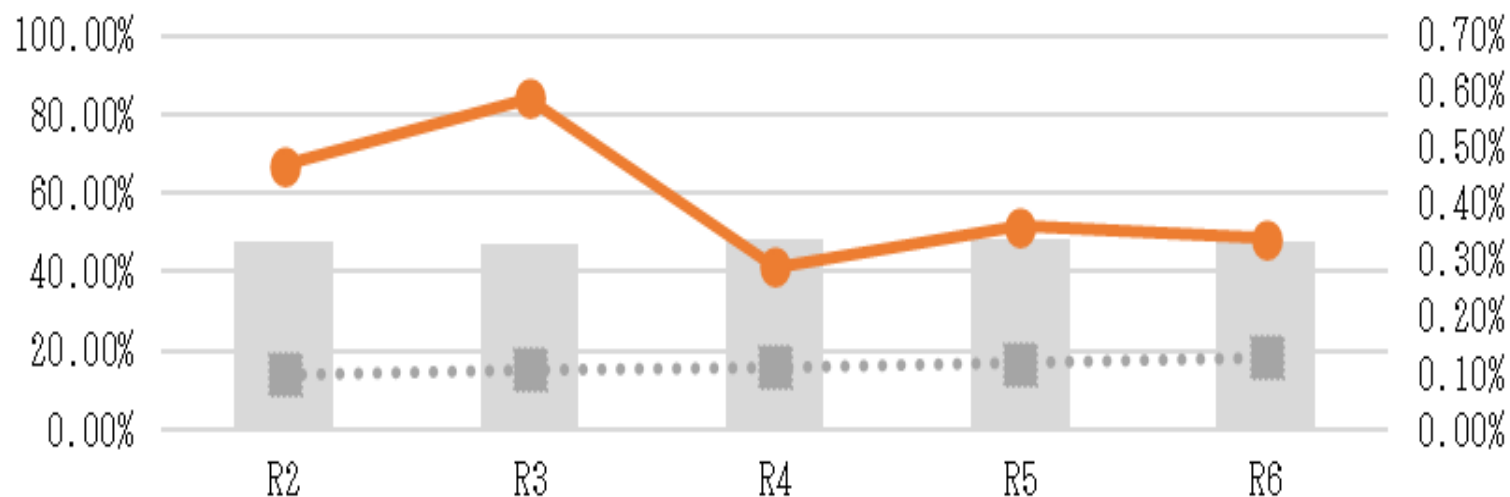
① 主な経営指標の状況

指標	内容	単位	実績値		
			R4	R5	R6
供給単価	有収水量1 m ³ あたりの 料金収入	円／m ³	132.51	132.08	151.62
給水原価	有収水量1 m ³ あたりの 給水費用	円／m ³	136.16	138.12	143.14
料金回収率	供給単価／給水原価	%	97.32	95.63	105.92
経常収支比率	総収益／総費用	%	101.20	98.49	107.76

② 資産(管路)の状況

有形固定資産減価償却率・管路経年化率・管路更新率の推移

・
・
・
有形固定資産減価償却率
管路経年化率



有形固定資産減価償却率 管路経年化率 管路更新率

管路更新率

③ 業務量

○節水機器の普及により家庭用水量が減少傾向にある中、事業用大口利用者の使用水量が増加したことにより、年間有収水量は前年度と同水準となりました。

○有収率は1.4ポイント減少し、老朽管路の割合が増加していることが分かります。有収率の回復に向けて、漏水対策に取り組む必要があります。

項 目	令和6年度	令和5年度	増 減
年度末給水人口(人)	70,253	70,275	△22
普及率(%)	99.9	99.9	—
年度末給水件数(件)	20,205	19,948	257
年間総配水量(m ³) (配水池から送り出した総水量)	9,149,266	9,018,441	130,825
年間有収水量(m ³) (水道料金徴収の対象となった水量)	8,110,449	8,114,201	△3,752
有収率(%) (年間有収水量÷年間総配水量)	88.6	90.0	△1.4

④ 企業債

○借入額が償還額を上回っています。今後も計画的に老朽管更新等の投資を行うため、企業債残高は増加見込みとなっています。

